

まちづくり あいかわ

～歴史的資源を活用した地域活性化の活動報告～

— 53号 —

発行所 佐渡市相川支所
〒952-1592
佐渡市相川栄町27番地
TEL 0259 (74) 3111 (代)
FAX 0259 (74) 2551

相川車座の報告

▼はんが甲子園作品展 & 移住者交流イベント

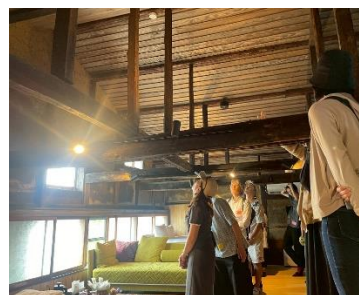
はんが甲子園の前回大会と前々回大会の受賞作品を大会実行委員会からお借りして、清水家ロビーにおいて5月30日～6月8日の期間に作品展を開催しました。今回は、期間中約50名の方から作品鑑賞に訪れていただきました。そして、この期間中の6月7日にSUI(佐渡UIターニンフォメーションセンター)の企画で、移住者向けの交流イベントも開催しました。

この交流イベントは移住者だけではなく、観光に訪れた方々も加わり総勢20名での開催となりました。意見交換の場面では、佐渡・相川の魅力に関する意見や「地域に入りたいけれど、どうやったら仲良くできるのかわからない」といった意見が出るなど、この地の魅力を感じる

一方で新たな生活を始めた中で感じる不安といった、移住者の本音や悩みを共有する貴重な機会となりました。

これまで、清水家ロビーには住民や宿泊者、観光に来られた方が訪れることはありましたが、移住者の方から来ていただくことはありませんでしたので、今回は清水家ロビーの新たな扉を開く良いイベントとなりました。

相川車座の立ち上げ時に決めたキーワードがあります。それは、「人と



人を繋げる」「人とモノを繋げる」「人と地域を繋げる」でした。このキーワードを振り返り、正に、このような移住者との交流の機会が重要であると感じました。清水家ロビーなどを交流の場として「地元住民(人)と移住者(人)を繋げる」、移住者が地域のコミュニティに入っていけるきっかけを、今後も作っていききたいと思っています。

▼清水家ロビーで8月1日から10月末まで

立浪会のミニ公演を定期開催!!

清水家ロビーは地域の皆様と宿泊者の交流の場所にしてきたい、という考えの下、「相川ひなまつり」や「はんが甲子園作品展」など、地域の皆様にもお立ち寄りいただけるイベント企画を取り組んできました。

その新たな取り組みとして、今年の夏から秋は、週末中心に夕方以降の時間帯も清水家ロビーを開放して、交流の場を作りたいと考えています。

かつて「きらりうむ佐渡」の場所にあった「佐渡会館」で行われていた定期公演には遠く及びませんが、地元の皆様からも、帰省などで来られているご家族などとお誘い合わせのうえ、是非お越しください。

【場所】相川二丁目23 清水家ロビー

【期間】8月1日(金)～10月末まで

【日時】鉾山祭り連動公演 7月26日(土) 19時10分開演予定

8月公演 1日・15日・16日・22日 20時30分開演

【その他】期間中の週末を中心に全19回を予定しています。

入場料・詳細の時間は、随時SNSで発信します。お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】050・1720・9976



▼大山祇神社 旧社務所 事前見学会

7月26日に鉾山祭りの神事式が大山祇神社で催されます。これに合わせて、この度手掛けした大山祇神社旧社務所の事前見学会を行います。

当日は、お茶やふるまい酒などを、ご用意させていただく予定です。神事式の前後に、ぜひ立ち寄りください。

【日時】 7月26日(土)

- ① 8時30分～9時30分
- ② 10時45分～12時30分

【場所】 相川下山之神町6-3

大山祇神社横 旧社務所

【お問い合わせ先】 050・1720・9976



空き家図書館 7月イベント 開催案内

▼「絵本読み語りの会その4」 テーマは「夏」

暑い夏、キラキラした夏のお話に飛び込みませんか？
「夏」をテーマにした心がわくわくする絵本の世界！
子どもから大人まで、みんなで楽しめる時間をお届けします。
読み手は本棚オーナーさんです。

【日時】 7月19日(土) 13時30分～14時30分

【場所】 空き家図書館～京町ものがたり～ 相川中京町29-3

【参加費】 無料(事前申込不要)

▼「I Love this book」

(大好きな本を紹介し合うイベント)

大好きな本を持ち寄って、ゆるくブックトークしませんか？読書が好きな方、普段あまり読まないけれど気になる本がある方など、どなたでも大歓迎です！

形式張らず、リラックスした雰囲気で大好きな本について気持ちをシェアするだけでOKです。本のジャンルは問いません。ビジネス書・小説・絵本など、どんな本でも大歓迎！読んだ時の感想や、その本があなたに与えた影響などを語り合いながら、新たな本との出会いを楽しみましょう。

【日時】 7月20日(日) 14時～15時30分

【場所】 空き家図書館～京町ものがたり～ 相川中京町29-3

【持ち物】 大好きな本(1～3冊ほど)

【定員】 5名(先着順)

【一人当りの本紹介時間】 15分ほど

【参加申込・お問い合わせ先】 090・7437・4993



空き家図書館
Instagram

あいかわハロウィンパーティー2025 開催決定！

毎年恒例となっている「あいかわハロウィンパーティー」を、今年も開催いたします！

子どもから大人まで楽しめるコスプレコンテストをはじめ、今年も楽しい企画が盛りだくさん！仮装して、笑って、相川のまちを一緒に盛り上げましょう！

皆さまのご参加を心よりお待ちしております！
イベントの詳細は改めて、発表いたします。

【日時】 10月12日(日) 16時～21時

【場所】 相川天領通り商店街(相川一丁目)

【主催】 佐渡國相川あきんど会

地域おこし協力隊伊藤幹太の相川商人図鑑 Part 2

「旅荘あさひ荘 Casa ORITO」

「海が見える場所で、新しい一歩を」

2025年春、相川地区に新たな民宿「旅荘あさひ荘 Casa ORITO」がオープンしました。

運営するのは、大阪からUターンされた高嶋かおりさん。生まれ育った相川の風景と調和するこの宿には、地域への深い愛情が込められています。

もともとは、お母様と一緒に実家の民宿「あさひ荘」を運営しようと考えたものの、建物の老朽化や今後の維持管理の面から、新たに一から建てるという決断に至ったことが、開業のきっかけだといえます。

候補地をいくつか巡るなかで、海が一望できる相川下戸の土地に出会い、「ここしかない」と直感を感じたそうです。前職で培った企画・運営のスキルを活かし、全国各地の宿に泊まりながら得たアイデアもふんだんに取り入れました。設計、内装、色づかいには建築士の方々と相談しながら進めて、仕上げられました。

玄関を抜けて右手に広がるロビーダイニングからは、相川の海が一望できます。特に夕暮れ時には、海に沈む夕陽がまるで絵画のように映るのだとか。客室は海側と山側に分かれており、観光で来られるお客様は「海が見える部屋」のご希望が多いとのこと。一方で、実際の利用はビジネスのお客様が中心



旅荘あさひ荘 Casa ORITO 正面外観と 高嶋かおりさん

で、シモンズ社製厚手ベッドマットなど、快適な滞在のための工夫が随所に凝らされています。

また、こちらの宿では、素泊まり・朝食付き・二食付きの各プランが用意されており、旅の目的や滞在スタイルに合わせて選ぶことができます。朝食には佐渡産の食材をふんだんに使用し、永柳陶房さんの無名異焼の器も一部取り入れています。食事には「佐渡サーモン」や「へんじんもつこのソーセージ」など、地元

の味覚を楽しめる内容となっています。「相川の好きなどころは、生まれ育った上町から見える海や山です」と語る高嶋さん。眺めていると心が落ち着くそうです。地元の方々の温かい応援やご紹介に感謝しつつ「地元の皆様から信頼されオススメして頂ける民宿」として信頼されることを目指し、日々心を込めて運営に取り組まれています。



海が一望できるロビーダイニング



快適な滞在のための工夫を凝らした客室

「旅荘あさひ荘 Casa ORITO」
所在地 佐渡市相川下戸村141の3
連絡先 050-8883-8120
定休日 なし
・宿泊プラン「素泊まり」「朝食付き」「二食付き」がご
・宿泊プラン「素泊まり」「朝食付き」「二食付き」がござ
・ます。どうぞご利用ください!!



旅荘あさひ荘 Casa ORITO
ウェブサイト

このコーナーで取り上げてほしいお店などのリクエストをお待ちしています！
【お問い合わせ先】 090-7437-4993 (地域おこし協力隊 伊藤)

ボランティアスタッフ募集中!!

『飲食店待合案内所』の運営に

ご協力ください!

「せっかく相川へ観光に来たのに、どのお店も満席で食事ができない…。」そんな残念な思いをされる観光客の方を少しでも減らすために、私たち「佐渡國相川あきんど会」では、毎年ゴールデンウィークとお盆の時期に、ボランティアによる飲食店待合案内所を開設しています。一昨年・昨年と私自身も参加し、たくさんの観光客の方々をご案内してきました。ご案内した方からは、「お店を教えてもらえて本当に助かった!」「また佐渡にきたい!」そのようなお声を直接聞くことができ、とてもやりがいを感じる活動です。

今年のゴールデンウィークも実施し、3日間で130名以上の観光客をご案内させていただきました。今年のお盆の時期も、例年以上に多くの方が相川を訪れると見込まれます。

そこで、飲食店の空き状況などをご案内し、実際にお店で歩いて案内してくださるボランティアスタッフを募集いたします! 佐渡・相川の魅力を伝え、また来たいと思っていただけのように、一緒にお手伝いいただけませんか? 皆さまの温かいご協力を、心よりお待ちしております。

お問い合わせ・お申し込みは7月30日までに左記の電話番号へご連絡ください。

【開設期間】 8月9日(土)～8月15日(金) (変更の可能性あり)

【開設時間】 午前10時～午後8時 (変更の可能性あり)

【開設場所】 ぽんぽこホール (相川羽田町31)

【活動内容】 飲食店舗への徒歩でのご案内 (短時間参加可)

【お問い合わせ先】 090-7437-4993 (事務局)

090-2231-9996 (会長 石見)

あいかわ道草話

佐渡奉行鎮目市左衛門のこと

鎮目市左衛門。永禄7年(1564)甲斐国山梨郡鎮目村(山梨県笛吹市春日居町)生まれ。祖父の代から武田信玄、勝頼二代に仕え、天正10年(1582)武田家が滅亡すると徳川家へ。慶長5年(1600)関ヶ原合戦に、徳川秀忠の下で信州上田城攻めに陣出陣。先陣の七本槍の一人として、その武功により禄千石を与えられました。

元和3年(1617)、大久保長安没後衰退していた佐渡金銀山へ派遣され、翌年佐渡奉行に任命されると、山師らへ資金・資材の貸与、大工・穿子(ほりこ)に米の貸出しや安米の提供など積極的な復興策を実施。また、金銀輸送経費削減のため、大久保長安の屋敷を取り壊し(現相川診療所敷地)、そこで佐渡小判鑄造を行いました。これにより、「金銀も前後無類の盛を得る」ほど、金銀山は復活しました。ところが市左衛門は、寛永4年(1627)7月14日、戸地川に設置した鉾石を砕く大水車を視察中、急死。一説に、大鱈を獲ろうとしておぼれたともいわれています。

遺言で吹上に葬りましたが、『佐渡風土記』に「遺骨は一里島辺にて流し、墓へは御着用の衣類を納める」とあります。

『佐渡年代記』は「この人剛直にして、しかも慈愛深く州民今に至つてその徳を慕う」として、忌日が盂蘭盆会のため4月14日に月を改め、戦前まで供養祭が行われていました。現在、鎮目奉行出身地の縁で交流が続く笛吹市、この7月29日から同市の子供たちが訪れます。



鎮目奉行の墓。彼は生前、小さな東屋を吹上に建て、風景を楽しんだという。